

令和2年3月27日

各 学 部 長
地 域 創 造 学 環 長
光 医 工 学 研 究 科 長
創 造 科 学 技 術 大 学 院 長
電 子 工 学 研 究 所 長 殿
グ リ ー ン 科 学 技 術 研 究 所 長
各 学 内 共 同 教 育 研 究 施 設 長
国 際 連 携 推 進 機 構 長
保 健 セ ン タ ー 所 長

学 長

新型コロナウイルス感染症に配慮した新学期ガイダンスの実施について（通知）

令和2年度4月の新学期ガイダンス（以下単に「ガイダンス」という。）については、各部局において、下記を参考の上、検討を行い、密閉空間・密集場所・密接場面の3つの条件が重なることによる感染クラスター（集団）の発生を防止するなど、新型コロナウイルス感染症への感染リスクを最大限低減させるための抜本の見直しを図った上で実施されるようお願いいたします。

記

1. ガイダンスにおける説明を全て省略し、資料の配布のみによることができないかをまず検討すること。その際、各自に配布資料を読ませる際の手掛かりになるようなレジュメ等を作成して、学生に配布する等の工夫を検討すること。
2. ガイダンスにおける説明を実施する場合でも、説明は特に重要な項目に限定し、それ以外の項目については、学生に各自で資料を読んでおくようにさせるなどの方法により、ガイダンスの時間を大幅に短縮することについて検討すること。
3. 準備が間に合うようであれば、ガイダンス内容を事前に動画収録して学生に視聴させる等の方法も検討すること。
4. 密閉空間になることを避けるため、ガイダンスの前後及びガイダンス中に、窓を開ける等して換気に努めること。

5. 対応する教職員の確保ができるのであれば、教室を複数用意することで収容人数を減らす等の対策により、学生が密集すること避ける工夫を検討すること。
6. ガイダンスに参加する学生に対して、ガイダンス参加の際は、原則マスクを着用することを本学ホームページにて周知することとしているので、ガイダンスを担当する教職員についても、原則マスクを着用し、教職員からの飛沫感染を防ぐようにすること。
7. ガイダンスの時間が短縮された際は、次のガイダンスの開始時間も可能な範囲で前倒しして、学生の待ち時間が短くなるよう配慮すること。
8. 学部新入生のアンケートについて、例年その場で記入させて回収している場合には、自宅で記入して、後日、レポートボックスに提出させる等の取扱いを検討すること。
9. 風邪の症状がある学生や体調がすぐれない学生は、ガイダンスに参加させないようにすること。ガイダンス中に体調が悪くなった学生についても、速やかに帰宅させること。その際、ガイダンスを欠席した学生に対しては、4月以降の学生生活に支障が出ない個別にフォローすること。
10. 海外渡航から帰国した学生は、帰国日の翌日から起算して14日間は自宅待機となり、本学への登校はできないため、該当する学生から連絡があったときは、大学には登校させずガイダンスにも参加させないこと。

(本件担当)

国立大学法人 静岡大学
学務部教務課教育企画係
電 話 054-238-4257
F A X 054-238-5347